

# 融合研究戦略室

宇宙科学と地球科学の融合による新たな研究の開拓は、本研究所の重要な役割の一つである。そこで、関連する分野の研究者と協力して多様な融合研究を強力かつ戦略的に推進するため、研究所所長のもとに「融合研究戦略室」を2022年8月に設置した。融合研究戦略室は、これまで本研究所が進めてきた融合研究と、各分野で行われていた専門研究の実績を基盤として、新たな研究戦略を学際的な視点から構築すると共に、現在取り組んでいる多様な共同利用・共同研究プログラムおよび関連機関との共同研究プロジェクトなどを活用しながら、関連コミュニティとの協力のもとでそれを実現するための主導的役割を果たす。

融合研究戦略室には、研究所長（室長）・副所長と共に共同利用・共同研究の基盤を担う3つの附属センター（国際連携研究センター、統合データサイエンスセンター、飛翔体観測推進センター）のセンター長および、国際連携研究センターから実務を担う外国人教員1名を室員として配置した。また、統合データサイエンスセンター、飛翔体観測推進センターと兼任して実務を担う特任教員2名を新たに公募した（着任は2023年4月）。さらにこれらの戦略室所属教員に加えて、所内教員（基盤研究部より若干名）、関連部局（工学研究科、理学研究科、環境学研究科、情報学研究科、附属図書館、未来材料・システム研究所、博物館）の教職員、および学外委員（運営協議会および共同利用・共同研究委員会より各1名）で構成される融合研究戦略運営委員会を組織し、幅広い分野を包括した新たな融合研究の戦略策定を進めている。

さらに本年度は、研究所長（室長）のリーダーシップの下、4件の融合研究プロジェクト（「Energetic Particle Chain –高エネルギー荷電粒子降り込みが中層・下層大気に及ぼす影響–」、「パレオディテクターによる暗黒物質の直接探索」、「過去の太陽地球環境のアナログ観測記録のデータレスキュー」、「東南極の氷床内陸域における気候復元と宇宙環境変動に対する影響評価」）を推進した。

